

○新型コロナウイルス感染症(COVID-19)ニュース【号外】 2020.3.30○

仙台では桜の開花も宣言されましたが、週末には国内各地で不要不急の外出自粛が呼びかけられています。その中、昨日は仙台でも新規の患者さんが確認され、今後の増加は確実に予断を許さない状況です。

新規 仙台市で県内3例目、4例目の感染者が確認されました(2020.3.29)

3月29日(日)、仙台市内において新型コロナウイルス感染症の患者さんが2人確認されました。仙台市保健所長から永井幸夫会長に連絡がありました。同日23時から、市役所で仙台市第8回危機管理連絡本部会議が行われ、永井会長が出席されました。会議における内容(記者発表資料)をお知らせします。

今後、市内での感染拡大が予想されますので十分にご注意ください。

記

3月29日(日)午後5時30分頃、市内において新型コロナウイルス感染症の患者さん2名が確認されました。宮城県内で新型コロナウイルス感染症の患者さんが確認されたのは、3月26日に判明した塩釜保健所管内の40台の女性に続き、3例目、4例目となります。

2人とも発熱等の症状が出て近隣の医療機関を受診していましたが、外国籍の30代女性患者さんが3月20日(金・祝)、21日(土)に仙台市内で飲食を共にした秋田県在住の2人が新型コロナウイルスに感染したことを知り、28日(土)に帰国者・接触者相談センターに電話で相談しておりました。20日にこの30代女性患者さんと同じ飲食店で飲食を共にした30代男性も同様の症状を訴えていたことから、29日(日)に2人ともに帰国者・接触者外来を受診し、検査を行ったところ、午後5時30分頃に陽性が判明しました。

現在2人とも感染症指定医療機関に入院していますが、両名ともに状態は落ち着いており、重篤な状況ではないとのこと。今後、患者さんの行動歴を確認し、濃厚接触者を把握するとともに、健康観察を行っていきます。

編集長(医政広報部長、福壽岳雄)からのひとこと

これまで、宮城県内で確認された新型コロナウイルス感染の患者さんは東京で感染して県内へ移動したと考えられておりましたが、今回は市中感染の可能性が考えられます。新型コロナウイルス感染の患者さんが市内医療機関を受診される可能性も高くなったと考えなければなりません。

今一度、対応フローを参考に、自院での対応についてご確認ください。新型インフルエンザ治療薬、アビガン等の臨床使用も治験が進められているようです。終息の得られる日まで仙台市民の皆さん、診療所の皆さんの健康を守りつつ医療体制の堅持が望まれます。